

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【家 庭】

教科用図書北諸県採択地区協議会

# 1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へつながるよう学習内容が配列されており、児童の発達段階に応じて、系統的に学べるように構成されている。また、5 学年では 8 題材、6 学年では 7 題材が設定されており、題材の配列を組み合わせることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようになっている。基礎的な知識や技能の多くを 5 学年で学習し 6 学年で再度学習することで、より確実な定着を図るように配分されている。さらに、各題材の振り返りや各学年末の「まとめ」を設定することで、自分の成長を実感できるような工夫が見られる。
9 開隆堂出版	(1) 家庭科の目標を達成するために、スモールステップによる反復学習を通して基礎的・基本的な内容を定着させ、応用・発展的な学習へと内容が配列されており、2 年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、5 学年では「生活を見つめ、できることを増やしていこう」で 11 題材、6 学年では「工夫して生活に生かそう」で 9 題材が設定されている。題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導を展開できる配列となっている。さらに、6 学年の終わりには、2 年間の学習を振り返り、中学校の学習へつながるような工夫が見られる。

## 2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで学習を進めることによって、児童は見通しをもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付けたりできるようになっている。また、各題材の最初に「家庭科の窓」を設けて、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。さらに、巻頭に設けられた「成長の記録」では、児童自身が学びや変容を自覚しながら学習できるなど、主体的・対話的で深い学びを実現できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「いつも確かめよう」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、さまざまな写真やイラスト、動画を活用することで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じて「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「深めよう」が設定されている。児童同士の対話を通して、自らの考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(4) 生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、家庭で挑戦したいことを記録する「次へのチャレンジ」や、家庭での実践の進め方や、実践の例を示した「生活を変えるチャンス！」が設定されているなどの工夫が見られる。また、学習内容に関わる仕事をしている方のインタビュー「プロに聞く！」が掲載されており、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>

<p>9 開隆堂出版</p>	<p>(1) 「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の流れで学習を進めることによって、見通しをもち、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだり、実践を振り返って新たな課題を見付けたりできるようになっている。また、各題材の最初に、「生活の見方・考え方」を四つ葉のクローバーで表し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。さらに、生活場面を想起できる写真やイラストを用いたり、児童が見つけた課題を記入できる欄を設けたりし、主体的・対話的で深い学びを実現することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 日常生活に必要な知識や調理・製作実習における基礎技能を「実習で役立つワンポイント」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。また、簡単なものから積み重ねて学習できるようにし、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 日常生活の中から問題を見だし、課題を解決するために、各題材の内容に応じて「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」といった小課題が設定されている。児童同士の対話を通して、考えを広げたり深めたりできるようになっており、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような手立てが見られる。</p> <p>(4) 生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために生活に活用したいことを記録する「生活に生かそう」や、課題解決のステップや取組の例を示した「レッツトライ 生活の課題と実践」が設定されるなどの工夫が見られる。また、学習内容に関連する取組や仕事をしている人の「キャリアインタビュー」が掲載されており、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>
----------------	--

### 3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 「イエッティー」や「トリー」、児童のキャラクターが、家庭科の見方・考え方や学習のポイントを吹き出しで具体的に示すことで、児童の学習意欲を高めるとともに、理解を深めるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 巻頭に衛生・安全の特設ページや、「安全」「環境」「日々の備え」のマークとチェック欄を設定することで、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。</p> <p>(3) 効果的に学習を進めることができるようにするために、豊富な動画コンテンツが用いられている。また、手をのせて練習できる実寸大の写真を表示し、テーマカラーで分けられた学習内容や実習を安全に行えるようにしている。</p> <p>(4) 持続可能な社会をつくる消費者としての基本的な知識や態度を身に付けることができるようにするために、SDGsに関する特集ページを設け、各題材の学習につなげるように工夫されている。また、家庭科に必要な視点である「消費生活・環境」の内容を5学年の早い段階で取り上げている。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 「クローバー」や「カラフルうさぎ」等の多様性に配慮したキャラクターが、家庭科の見方・考え方や学習のヒントを吹き出しで具体的に示すことで、児童の学習意欲を高め、理解を深めるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 巻末に安全・衛生や防災に関するページや、「安全」「環境」「防災」のマークとチェック欄を設定することで、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。</p> <p>(3) 効果的に学習を進めることができるようにするために、豊富な動画コンテンツが用いられている。また、大きさの感覚がつかみやすい実物大資料や裏表紙に野菜の切り方・ものさしを表示し、インデックスで色分けされた学習内容や実習を安全に行えるようにしている。</p> <p>(4) 消費者として環境や資源について考えることができるようにするために、5学年の学習内容をSDGsの観点で振り返るページを設け、6学年の学習につなげるように工夫されている。また、持続可能な社会への実現に向けて日々取り組んでいる人を「キャリアインタビュー」で取り上げている。</p>

#### 4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 本地区の児童の実態や課題に対応し、児童に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 児童が興味・関心をもち、主体的に学習に向かうことができるようにするために、導入の段階で、題材のゴールイメージをもてるような写真やイラストの工夫が見られる。また、児童の発達の段階に応じて学びの系統性や連続性に配慮するなどの単元配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 習得した知識や技能を、家庭や地域の中で活用できるようにするために、単元の終末の段階において「深めよう」や「生活を変えるチャンス!」「夏休みわくわくチャレンジ」等の中で、実践例や具体例を丁寧に紹介し、学びを生かして取り組むことができるような課題設定の工夫が見られる。</p> <p>(3) 効果的に学習を進めるために、右利きと左利きに対応した動画コンテンツが、布を用いた制作の仕方については6種類、調理で使用する道具の使い方については2種類準備されるなどの工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 児童が興味・関心をもち、主体的に学習に向かうことができるようにするために、導入の段階で、学びの過程が想像しやすく学習への見通しがもちやすい写真やイラストの工夫が見られる。また、題材を細かく構成・配列し、スモールステップで学習が積み上げられるなどの単元配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 習得した知識や技能を、家庭や地域の中で活用できるようにするために、単元の終末の段階において「生かす・深める」や「レッツトライ!生活の課題と実せん」等の中で、わかったことやできるようになったことを生かし、深められるような課題設定の工夫が見られる。</p> <p>(3) 効果的に学習を進めるために、右利きと左利きに対応した動画コンテンツが、布を用いた制作の仕方については2種類、調理で使用する道具の使い方については4種類準備されるなどの工夫が見られる。</p>